

陳 情 文 書 表

平 2 9 陳 情 第 1 7 号		平成 2 9 年 5 月 3 0 日 受 理
件 名	末広ふれあいセンターの使用料を現行どおり無料とすることを求める陳情	
陳 情 者	秦野市北矢名 5 6 - 9 公民館等公共施設の使用料値上げ問題を考える会 代表 平井 洋子 秦野市南矢名 3 - 6 - 2 8 新日本婦人の会秦野支部 支部長 原 とし子 秦野市曲松 2 - 5 - 2 2 平和・民主・革新をめざす秦野市懇談会 事務局長 太田 潤七	
陳 情 の 要 旨		
<p>市は、平成 2 8 年 1 0 月に秦野市末広ふれあいセンター（以下「ふれあいセンター」という）の使用に係る使用料を無料から有料にすると公表しました。</p> <p>市は、「ふれあいセンター」について、「高齢者の健康の増進及び教養の向上を図るための事業、高齢者と児童との世代間交流事業等を積極的に展開することにより、介護予防等福祉の増進を図ることを目的とする施設」として設置しました。</p> <p>平成 2 7 年度、「ふれあいセンター」を利用し、地域の高齢者のいきがづくり事業や世代間交流事業の実施、高齢者の介護予防など福祉の増進事業に市民は、延べ 3 2 , 0 8 5 人が利用・参加しました。</p> <p>このように多くの市民が「ふれあいセンター」を利用しております。</p> <p>市民は、市が現行使用料を無料から有料にすることについて、納得できません。</p> <p>市の財政状況については、健全財政を維持しています。</p> <p>この「ふれあいセンター」の使用について、市は現行無料から有料にしようとしています。設置目的から見ても市民（利用者）に負担を求める道理と根拠はありません。</p> <p>まずその 1 は、市監査委員が平成 2 7 年度決算の市の主な財政指標の状況で、「財政力指数、経常収支比率、実質公債費比率」を挙げる財政運営を評価しています。</p>		

その2は、市が平成28年11月1日発行「広報はだの」で市の財政の健全度について、「本市の財政は財政悪化の目安とされる『早期健全化基準』を全ての項目で下回り、前年度までと同様、健全な状態を維持しています。」と自ら評価しています。

以上のように市は、「市の台所事情は、健全財政の維持」と認めています。従って、下記の項目を陳情します。

陳情項目

末広ふれあいセンターの使用料は、現行どおり無料とすること。